

Ⅶ 試験研究発表題名

平成 21 年度 試験研究発表題名一覧

1. YOSHIMARU H. (吉丸博志), Ohtani M. (大谷雅人), Yoshimura K. (吉村研介), Suzuki M. (鈴木三男) (東北大学), Tanaka T. (田中孝尚), Noshiro S. (能城修一), Fujii T. (藤井智之), Tachida H. (館田英典) (九州大学), Nagai H., Ito M. (伊藤元己) (東京大学), Jinbo U. (神保宇嗣) (東京大学), Tsumura Y. (津村義彦), Kawahara T. (河原孝行). DNA barcoding on woody plants in Japan. BOL 会議 (メキシコ), 3
2. Tomoyuki Fujii (藤井智之), H. Abe (安部久), A. Kagawa (香川聡), A. Katp, K. Yoashida (吉田和正), Y. Tumura (津村義彦), H. Yoshimaru (吉丸博志), and M. Miyamoto (宮本基枝). FFPRI Research Project on the Improved Methods to Identify Tree Species and their Origins of Southeast Asian Timbers (東南アジア産木材の樹種識別及び産地特定技術開発に関わる FFPRI 研究プロジェクト). Abstract of the 7th Pacific Regional Wood Anatomy Conference (PRWAC) 2009, 8:6
3. Tomoyuki Fujii (藤井智之). Prospective Role of Wood Identification in Timber Trade (木材流通における木材識別が果たすべき役割). Keynote address: 7th Pacific Regional Wood Anatomy Conference (PRWAC), 20
4. 吉田和正, 安部久, 津村義彦, 藤井智之. *Shorea* 属製材品および合板用単板の樹種識別. 日本木材学会大会, 60 (2010年3月17日~19日, 宮崎): PA031
5. Peter Kitin, Hnas Beeckman, Tomoyuki Fujii (藤井智之), Ryo Funada, Shuichi Noshiro (能城修一), and Hisashi Abe (安部久). What is disjunctive xylem parenchyma? A case study of the African tropical hardwood *Okoubaka aubreevillei* (Santalaceae) (離接木部柔細胞とは? アフリカの熱帯産広葉樹材 *Okoubaka aubreevillei* (Santalaceae) の場合). *American Journal of Botany*, 96 (8): 1399-1408
6. 能城修一, 藤井智之, 山本博一 (東京大学). 近世中・後期の社寺建築にみる樹種選択. 日本植生史学会大会講演要旨集, 24:100
7. 吉丸博志, 吉村研介, 大谷雅人, 能城修一, 藤井智之, 勝木俊雄, 鈴木節子, 菊地賢, 津村義彦, 河原孝行, 鈴木三男 (東北大学), 田中孝尚 (東北大学), 館田英典 (九州大学), 伊藤元己 (東京大学), 神保宇嗣 (東京大学). 日本産樹木 DNA バーコーディングの現状-収集と解析-. 日本生態学会大会講演要旨集, 57:
8. 横山操 (京大大学生存圏研究所), 杉山淳司 (京大大学生存圏研究所), 藤井智之, 能城修一. 文化財指定建造物における用材樹種調査 (I) -ヒノキとサワラの識別について-. 日本木材学会大会, 60 (2010年3月17日~19日, 宮崎): PB002
9. 安部久, 香川聡, 吉田和正, 藤井智之. 木材・木製品の樹種・産地表示と科学的検証の現状と今後. 表示・起源分析技術研究懇談会講演会, 2:
10. Shigeki, S., F. Yamada (山田文雄), T. Hashimoto (橋本琢磨) ((財) 自然環境研究センター), K. Fukasawa (鹿児島国際大学), J. Kobayashi, and S. Abe (阿部慎太郎) (環境省). An attempt of the surveillance sensitivity comparison in Amami-ohshima Island, Japan. Abstracts of Island Invasives: Eradication and Management Conference : 60-61
11. Yamada, F. (山田文雄), G. Ogura (小倉剛) (琉球大学), S. Abe (阿部慎太郎) (環境省). *Herpestes javanicus*. In *Wild Mammals of Japan* (eds. Ohdachi, S. D., Y. Ishibashi, M. A. Iwasa and T. Saitoh), Shoukadoh Book Sellers (Kyoto) : 264-266
12. Yamada, F. (山田文雄). *Lepus brachyurus*. In *Wild Mammals of Japan* (eds. Ohdachi, S. D., Y. Ishibashi, M. A. Iwasa and T. Saitoh) Shoukadoh Book Sellers (Kyoto) : 208-209
13. Yamada, F. (山田文雄). *Lepus timidus*. In *Wild Mammals of Japan* (eds. Ohdachi, S. D., Y. Ishibashi, M. A. Iwasa and T. Saitoh) Shoukadoh Book Sellers (Kyoto) : 206-207
14. Yamada, F. (山田文雄). *Oryctolagus cuniculus*. In *Wild Mammals of Japan* (eds. Ohdachi, S. D., Y. Ishibashi, M. A. Iwasa and T. Saitoh) Shoukadoh Book Sellers (Kyoto) : 210-212
15. Yamada, F. (山田文雄). *Pentalagus furnessi*. In *Wild Mammals of Japan* (eds. Ohdachi, S. D., Y. Ishibashi, M. A. Iwasa and T. Saitoh) Shoukadoh Book Sellers (Kyoto) : 204-205
16. 千葉英理子 (北海道大学), 山田文雄, 阿部慎太郎 (環境省), 松田洋一 (名古屋大学), 黒岩麻里 (北海道大学). SRY をもたないトゲネズミにおける生殖腺特異的 SOX9 エンハンサー (TES) 領域の解析. 日本分子生物学会年会講演要旨集, 32:333

17. Yamada, Fumio (山田文雄), Y. Watari (亘悠哉), S. Abe (阿部慎太郎) (環境省), S. Kubo (鹿児島国際大学), S. Nagumo (鹿児島国際大学), K. Funakoshi (鹿児島国際大学), and K. Ishida. (石田健) (東京大学). Surveillance of mongoose and Amami rabbit by auto cameras during mongoose control programs in Amami-Oshima Island, Japan. Abstracts of Island Invasives: Eradication and Management Conference : 75
18. 黒岩麻里 (北海道大学), 石口泰子 (北海道大学), 山田文雄, 阿部慎太郎 (環境省), 松田洋一 (名古屋大学). X0 型トゲネズミにおける Y 染色体の消失. 日本進化学会講演要旨集, 11 : 48
19. 村田知慧 (北海道大学), 山田文雄, 河内紀浩 (島嶼生物研究所), 中田勝士 (環境省), 阿部慎太郎 (環境省), 松田洋一 (名古屋大学), 黒岩麻里 (北海道大学). Y 染色体の運命 - トゲネズミにみられる Y 染色体消失と存続 -. 日本分子生物学会年会講演要旨集, 32 : 333
20. 村田知慧 (北海道大学), 山田文雄, 河内紀浩 (島嶼生物研究所), 中田勝士 (環境省), 三宅雄士 (環境省), 福地壮太 (環境省), 七里浩志 (環境省). オキナワトゲネズミ *Tokudaia muenninki* の性染色体と SRY 遺伝子の進化. 日本進化学会講演要旨集, 11 : 148
21. 山田文雄, 河内紀浩 (島嶼生物研究所), 中田勝士 (環境省), 三宅雄士 (環境省), 福地壮太 (環境省), 七里浩志 (環境省), 阿部慎太郎 (環境省), 小高信彦, 黒岩麻里 (北海道大学), 村田知慧 (北海道大学). オキナワトゲネズミ *Tokudaia muenninki* の性染色体進化. 沖縄生物学会大会プログラム・講演要旨集, 46 : 22
22. 山田文雄, 河内紀浩 (島嶼生物研究所), 中田勝士 (環境省), 三宅雄士 (環境省), 福地壮太 (環境省), 七里浩志 (環境省), 阿部慎太郎 (環境省), 小高信彦, 黒岩麻里 (北海道大学), 村田知慧 (北海道大学). オキナワトゲネズミ *Tokudaia muenninki* の生息地と捕獲個体. 沖縄生物学会大会プログラム・講演要旨集, 46 : 21
23. 村田知慧 (北海道大学), 山田文雄, 河内紀浩 (島嶼生物研究所), 中田勝士 (環境省), 阿部慎太郎 (環境省), 松田洋一 (名古屋大学), 黒岩麻里 (北海道大学). オキナワトゲネズミの X および Y 染色体が大型化したメカニズムの解明. 日本哺乳類学会 2009 年度大会講演要旨集 : 106
24. 村田知慧 (北海道大学), 山田文雄, 河内紀浩 (島嶼生物研究所), 中田勝士 (環境省), 三宅雄士 (環境省), 松田洋一 (名古屋大学), 黒岩麻里 (北海道大学). オキナワトゲネズミの性染色体の大型化. (財) 染色体学会 2009 年度年会プログラム・要旨集, 60 : 33
25. 山田文雄, 鈴木仁 (北海道大学), 黒岩麻里 (北海道大学), 村田知慧 (北海道大学). オキナワトゲネズミ再発見と, トゲネズミ研究の最近. 哺乳類科学, 49(1) : 133-135
26. 山田文雄. オキナワトゲネズミ再発見の学術的意義と保護への課題. 沖縄生物学会大会プログラム・講演要旨集, 46 : 24
27. 山田文雄, 阿部慎太郎 (環境省). ジャワマングースの根絶計画について「企画シンポ 侵略的外来種の防除戦略」. 日本生態学会大会講演要旨集, 57 : 145
28. 山田文雄. トゲネズミ研究を始めた理由. アーグ研究会誌, 1 : 10-13
29. 山田文雄, 河内紀浩 (島嶼生物研究所). 沖縄本島産希少哺乳類の生存と分布の確認調査. WWF ジャパン 南西諸島生物多様性評価プロジェクトフィールド調査報告書 (編集 : WWF ジャパン, 安村茂樹) : 3-16
30. 山田文雄. 外来哺乳類の実態と対策. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店) : 227-232
31. 山田文雄. 各論アマミノクロウサギ. 野生生物保護学会編「野生動物保護の事典」(朝倉書店) : 352-355
32. 澤谷間人 (北海道大学), 中田勝士 (環境省), 山田文雄, 西田千鶴子 (北海道大学), 松田洋一 (名古屋大学), 黒岩麻里 (北海道大学). 見かけ上 Y 染色体が存在しないジャワマングースにおける Y 染色体領域の同定. (財) 染色体学会 2009 年度年会プログラム・要旨集, 60 : 32
33. 澤谷間人 (北海道大学), 中田勝士 (環境省), 山田文雄, 西田千鶴子 (北海道大学), 松田洋一 (名古屋大学), 黒岩麻里 (北海道大学). 見かけ上 Y 染色体が存在しないジャワマングースにおける Y 染色体領域の同定. 日本哺乳類学会 2009 年度大会講演要旨集 : 68
34. 山田文雄, 池田透 (北海道大学), 小倉剛 (琉球大学), 常田邦彦 ((財) 自然環境研究センター), 石井信夫 (東京女子大学), 村上興正 (同志社大学). 国際会議報告「国際シンポジウム「侵略的外来哺乳類の防除戦略 - 生物多様性の保全を目指して -」を開催して」. 哺乳類科学, 49(1) : 177-183

35. 山田文雄. 国際会議報告「第3回世界ウサギ類会議に参加して」. 哺乳類科学, 49(1): 173-175
36. 山田文雄. 生物多様性と野生動物問題. 森林総合研究所関西支所研究情報, 95: 1
37. 山田文雄. 生物多様性の保全1. 朝日新聞大阪版科学欄「波」, 2009.10.20
38. 山田文雄. 生物多様性の保全2. 朝日新聞大阪版科学欄「波」, 2009.10.27
39. 山田文雄. 生物多様性の保全3. 朝日新聞大阪版科学欄「波」, 2009.11.3
40. 山田文雄, 河内紀浩(島嶼生物研究所), 中田勝士(環境省), 三宅雄士(環境省), 福地壮太(環境省), 七里浩志(環境省), 阿部慎太郎(環境省), 小高信彦, 高嶋敦史, 黒岩麻里(北海道大学), 村田知慧(北海道大学). 絶滅危惧種オキナワトゲネズミの生息地減少と捕獲個体. 日本哺乳類学会2009年度大会講演要旨集: 87
41. 黒田慶子(編著). 人と自然のふれあい機能向上を目的とした里山の保全・利活用技術の開発. 森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集, 27: 1-18, 58-67, 132-145, 146-147
42. 黒田慶子. 6.1. 森林の健全性と樹木病害, 6.1.1 森林病理学から見た森林の健全性(健康)とは. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店): 160-163
43. Kuroda, K. (黒田慶子). Anatomical factors related to the resistance of pine trees to the pine wilt disease.. The 7th Pacific Regional Wood Anatomy Conference, Kuala Lumpur, MALAYSIA. 3 rd to 5 th. August 2009, Abstract
44. 黒田慶子. スギ黒心材の発生原因. 森林技術, 812: 34-39
45. 黒田慶子. 先輩からのメッセージ 農学系: 林学関係. 内閣府男女共同参画局チャレンジキャンペーン, <http://www.gender.go.jp/c-challenge/senpai/nougaku/ringaku/002.html>
46. 黒田慶子. ナラ枯れのメカニズムと里山の今後. 林業と薬剤, 190: 12-18
47. 黒田慶子. ナラ枯れ増加から見えてきた「望ましい里山管理」の方向-枯れる前に資源として使う,.. 森林技術, 809: 2-7
48. 黒田慶子. 女性が仕事を楽しく続けるには. 豊かな森林づくりのためのレディースネットワーク・21 会報, 33: 3
49. 黒田慶子, 奥敬一. 森林研究から自然学習へ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 92: 3
50. 黒田慶子. 盆栽づくりを科学する, 第1回 年輪から分かること(その一・盆栽と普通の樹の違い). 山野草とミニ盆栽(近代出版), 75: 8-10
51. 黒田慶子. 盆栽づくりを科学する, 第2回 年輪から分かること(その二・30年生クロマツ盆栽の成長履歴). 山野草とミニ盆栽(近代出版), 76: 76-77
52. 黒田慶子. 盆栽づくりを科学する, 第3回 年輪から分かること(その三・枝の成長を見る). 山野草とミニ盆栽(近代出版), 77: 78-79
53. 黒田慶子, 大住克博, 奥敬一, 衣浦晴生, 高畑義啓, 伊東宏樹, 松本和馬. 里山資源の積極的利用で健康な里山を作る. 環境研究機関連絡会成果発表会, 7(ポスター展示): 4
54. 黒田慶子, 大住克博, 奥敬一, 衣浦晴生, 高畑義啓, 伊東宏樹, 松本和馬. 里山資源の積極的利用で, 健康な次世代里山を再生する. 森林総合研究所平成21年版研究成果選集: 30-31
55. 山本伸幸. 森林・林業と持続可能性. 農業と経済: 110-113, 118-119
56. 山本伸幸. 森林法, 森林資源の育成, 森林認証制度, 世界の主要林産国・消費国(北欧). 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店): 378, 382, 386, 411-412
57. 山本伸幸. 瀬戸際に立つ森林・林業統計. 森林総合研究所関西支所研究情報, 93: 1

58. 張玉福, 平野悠一郎, 山本伸幸. 中国森林関連統計の制度的実態と評価. 林業経済
59. 山本伸幸. チリ共和国における森林セクターの現況. 違法伐採対策等のための持続可能な森林経営推進計量モデル開発事業報告書(林野庁): 64-89
60. 山本伸幸. 統計制度改革と林野統計. 餅田治之・志賀和人編著『日本林業の構造変化とセンサス体系の再編－2005年林業センサス分析－』農林統計協会 (ISBN978-4541036285): 35-53
61. 沼尾波子 (日本大学), 山本伸幸, 石崎涼子, 都築伸行. 農山村地域における森林を取り巻く行財政システムに関する研究. 日本大学経済学部経済科学研究科レポート, 35: 10-26
62. 山本伸幸. フィンランドにおける林業所得税制改革. 日本大学経済学部経済科学研究所研究会要旨集, 169: 43-52
63. 山本伸幸. フィンランドにおける林業所得税制改革. 日本大学経済学部経済科学研究所紀要, 40: 135-143
64. 山本伸幸. 農山村の経済循環構造. 井口隆史編著『国際化時代と「地域農・林業」の再構築』(日本林業調査会) (ISBN978-4889651942): 275-294
65. 細田育広, 玉井幸治, 坪山良夫, 松浦純生. 2004年風倒前後の流出概況. 平成21年度竜ノ口山国有林における山地森林水保全機能調査業務報告書: 70
66. 細田育広. 治山ダム論議に必要な長期的観点. 森林総合研究所関西支所研究情報, 92: 1
67. 細田育広. 立木材積の変化から水流出の長期的な変動を再現する. 森林総合研究所平成21年版研究成果選集: 26-27
68. 日野輝明. カワウ. 季刊森林総研, 8: 10-11
69. 日野輝明. カワウを追跡する. 森林総合研究所関西支所研究情報, 95: 2
70. 日野輝明, 高橋裕史, 伊東宏樹. 環境収容力にもとづくシカの個体数管理と森林再生. 森林総合研究所平成21年版研究成果選集: 16-17
71. Osumi, Katsuhiko (大住克博), and Ishii, Atsuko (石井敦子) (滋賀県立大学). Establishment of oak-dominant Satoyama working forests in an anthropogenic landscape in Japan (人為景観内でのナラ類の優占する里山林の成立). The 10th International Congress of Ecology Abstract
72. 大住克博. 里山がコナラ林になるわけ. 四手井綱英編著「これからの日本の森林づくり」: 44-49
73. 大住克博. 火と二次的な植生景観. 日本生態学会大会講演要旨集, 57:
74. 日本樹木誌編集委員会 (編) (大住克博). 日本樹木誌 1. 762pp
75. 大原偉樹. 除伐. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店): 328-329
76. 和田覚 (秋田県農林水産技術センター森林技術センター), 金子智紀 (秋田県農林水産技術センター森林技術センター), 大原偉樹, 北田正憲, 齋藤武史, 平井敬三, 杉田久志, 八木橋勉. スギ人工林に対する抜き伐りが広葉樹の定着や下層植生に及ぼす短期的効果－秋田県長坂理水試験地の事例－. 東北森林学会大会講演要旨集, 14: 7
77. 齋藤武史, 大原偉樹, 金子智紀 (秋田県農林水産技術センター森林技術センター), 和田覚 (秋田県農林水産技術センター森林技術センター). スギ人工林間伐後の1年間における林内気温・地温の変化. 東北森林学会大会講演要旨集, 14: 80
78. Tomoko NISHIDA ((独) 農業環境技術研究所), Naoko YAMASHITA (山下直子), Motoaki ASAI ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構), Shunji KUROKAWA ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構), Takashi ENOMOTO (岡山大学), Paul C. Pheloung (CSIRO, Australia), Richard H. Groves (CSIRO, Australia). A risk assessment system for plants before their entry in Japan—an adaptation of the Australian weed risk assessment system. . 国際生物多様性の日シンポジウム 2009－外来種の来た道・行く道－ Shibuya, Tokyo (UNU) ポスター発表

79. Naoko Yamashita (山下直子), Takayuki Kawahara (河原孝行). Responses in seedling establishment of native forest trees and the invasive *Bischofia javanica* in the Bonin Islands of the subtropical Pacific, following the killing of *B. javanica* adult trees.
. Proceeding of the international symposium on Aliens in southern islands. Poster abstract : 13
80. Naoko Yamashita (山下直子), Nobuyuki Tanaka (田中信行), Yoshio Hoshi, Hiromichi Kushima (九島宏道), and Koichi Kamo (加茂皓一). Seed and seedling demography of invasive and native trees of subtropical pacific islands. Part II Impact of alien invasive species. In Restoring the oceanic island ecosystem. Impact and management of invasive alien species in the bonin islands (eds.K.Kawakami and I. Okochi)pp93-102.Springer
81. 山下直子. アカギ. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店):24-26
82. 山下直子. アカギ. 日本樹木誌 I (日本林業調査会):51-59
83. 山下直子. 移入種の扱い. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店):55-57
84. 河原孝行, 八巻一成, 山下直子, 幸田康則(北海道大学), 庄子康(北海道大学), 高橋英樹(北海道大学), 杉浦直人(熊本大学). 特性国内野生動植物種レブンアツモリソウの有効な保全対策とは?. 森林総合研究所平成21年版研究成果選集:20-21
85. 河原孝行, 東馬徹(東京大学), 邑田仁(東京大学), 山下直子, 宮浦富保(龍谷大学), トーマス・レイ(龍谷大学). 日本産ジンチョウゲ属 *Daphne* の分子系統とフェノロジー進化. 日本植物分類学会大会研究発表要旨集, 9:95
86. 五十嵐哲也, 大原偉樹, 山田文雄, 鳥居厚志, 井鷲裕司(京都大学). 28年間無伐採のモウソウチク林の林分構造と桿の齡構成. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合同大会研究発表要旨集, 60:51
87. 五十嵐哲也. 人工林の林床. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店):48-49
88. 五十嵐哲也. ヒノキ人工林と広葉樹二次林の下層植生の比較. 森林総合研究所関西支所年報, 50:49
89. 松本和馬, 上田明良, 高橋正義, 岡輝樹, 川上和人, 五十嵐哲也, 安田雅俊, 福山研二. CDM 植林が熱帯の生物多様性に与える影響~職位 r んで熱帯林の豊かな生物は回復するか?~. 森林総合研究所平成21年版研究成果選集:8-9
90. Motohiro Hasegawa (長谷川元洋), Kenji Fukuyama (福山研二), Shunji Makino (牧野俊一), Isamu Okochi (大河内勇), Hiroshi Tanaka (田中浩), Kimiko Okabe (岡部貴美子), Hideaki Goto (後藤秀章), Takeo Mizoguchi (溝口岳男), and Tadasi Sakata (阪田匡司). Collembolan community in broad-leaved forests and in conifer stands of *Cryptomeria japonica* in Central Japan. (日本中央部の広葉樹林およびスギ林におけるトビムシ群落). *Pesquisa Agropecuaria Brasileira*, 44:881-890
91. 溝口岳男. 土と根をつなぐ生きもの. 森林総合研究所関西支所年報, 50:70
92. 溝口岳男. はじめに:土が森を創り、森が土を創る. 森林総合研究所関西支所年報, 50:67
93. 溝口岳男. 樹木の細い根を調べる(1)根の画像を撮って調べるーミニライゾトロン法ー. 森林総合研究所関西支所研究情報, 92:4
94. 溝口岳男. 樹木の細い根を調べる(4)菌根を調べる. 森林総合研究所関西支所研究情報, 95:4
95. 小南裕志. CO₂はどのように測るのかー森林のCO₂交換量の測定ー. 平成21年度森林総合研究所関西支所公開講演会要旨:2
96. 松井哲哉, 田中伸行, 八木橋勉, 小南裕志, 津山幾太郎, 高橋潔. 温暖化にともなうブナ林の適域の変化予測と影響評価. 地球環境, 14(2):165-174
97. 小南裕志. はじめに:森林と二酸化炭素(CO₂)の関係. 平成21年度森林総合研究所関西支所公開講演会要旨:2
98. 小南裕志, 深山貴文. 超小型チャンバーを用いた森林内の様々な有機物からのCO₂放出量測定の試み. 森林総合研究所関西支所年報, 50:50
99. KOMINAMI Yuji (小南裕志), MIYAMA Takafumi (深山貴文), ATAKA Mioko (安宅未央子)(京都大学), MAKITA Naoki (牧田直樹)(神戸大学), MATSUMOTO Akira (松本晃)(神戸大学). Characteristics of CO₂ concentration change at warm

temperate forest situated in complex terrain. Proceedings of AsiaFlux Workshop 2009, 136

100. JOMURA Mayuko (上村真由子) (日本大学), KOMINAMI Yuji (小南裕志), ATAKA Mioko (安宅未央子) (京都大学), MATSUMOTO Akira (松本晃) (神戸大学), MAKITA Naoki (牧田直樹) (神戸大学), DANNOURA Masako (壇浦正子) (京都大学), MIYAMA Takafumi (深山貴文), TAMAI Koji (玉井幸治), GOTO Yoshiaki (後藤義明). Estimation of input-decomposition balance of heterotrophic processes in a warm-temperate mixed forest in Japan. International Carbon Dioxide Conference Abstracts, 8th (ICDC8), T2-066
101. OKUMURA Motonori (奥村智憲) (京都大学), NAKAGAWA Kenta (中川健太) (京都大学), KOMINAMI Yuji (小南裕志), MIYAMA Takafumi (深山貴文), KINOSHITA Kazuhiro (木下数博) (京都大学), TOHNO Susumu (東野達) (京都大学), TANI Akira (谷晃) (静岡県立大学), YONEDA Minoru (米田稔) (京都大学). Isoprene flux measurement using relaxed eddy accumulation method un warm-temperate mixed forest in Japan. Proceedings of AsiaFlux Workshop 2009, 134
102. KOMINAMI Yuji (小南裕志), JOMURA Mayuko (上村真由子) (日本大学), DANNOURA Masako (壇浦正子) (京都大学), MIYAMA Takafumi (深山貴文), TAMAI Koji (玉井幸治), ATAKA Mioko (安宅未央子) (京都大学), MAKITA Naoki (牧田直樹) (神戸大学), MATSUMOTO Akira (松本晃) (神戸大学), GOTO Yoshiaki (後藤義明). Longterm estimation of carbon balance for for a warm temperate mixed forest in Japan. International Carbon Dioxide Conference Abstracts, 8th (ICDC8), T2-028
103. 奥村智憲 (京都大学), 中川健太 (京都大学), 小南裕志, 深山貴文, 木下数博 (京都大学), 東野達 (京都大学), 米田稔 (京都大学). REA 法を用いたコナラ林におけるイソプレルフラックスの測定. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合同大会研究発表要旨集, 60 : 40
104. 小南裕志, 深山貴文, 安宅未央子 (京都大学), 吉村謙一 (神戸大学). 高解像度サーモグラフィを用いた森林樹冠表面温度の測定. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合同大会研究発表要旨集, 60 : 41
105. 津山幾太郎, 田中信行, 小山みふゆ, 松井哲哉, 小南裕志. チシマザサの生育域を気候条件から予測する. 森林総合研究所平成 21 年版研究成果選集 : 64-65
106. 谷川東子, 溝口岳男. 土の中では、菌がつくる糖たんぱくも、炭素の貯留に一役かっている. 森林総合研究所関西支所研究情報, 94 : 2
107. Toko Tanikawa (谷川東子), Masamichi Takahashi (高橋正通), Akihiro Imaya (今矢明宏), Kazuhiro Ishizuka (石塚和裕). Highly accumulated sulfur constituents and their mineralogical relationships in Andisols from central Japan (日本のアンデイトルにおけるイオウの大量蓄積と、その土壌鉱物特性との関係). Geoderma, 151 : 42-49
108. Toko Tanikawa (谷川東子), Masamichi Takahashi (高橋正通), Kyotaro Noguchi (野口享太郎), Hidetoshi Shigenaga (重永英年), Junko Nagakura (長倉淳子), Hisao Sakai (酒井寿夫), Kazuhiro Ishizuka (石塚和裕), Akio Akama (赤間亮夫). Nutritional Properties of Trees and Soils from Declined Forests in Oku-Nikko Region of central Japan (奥日光の森林衰退地域の樹木生葉と土壌の養分特性). Regional Scientific workshop on acid deposition in East Asia 2009 (東アジアの酸性雨に関する地域科学ワークショップ 2009) Program abstract (プログラムと要旨) : .50
109. 谷川東子. 土の中を動くモノ、留まるモノ. 森林総合研究所関西支所年報, 50 : 68
110. 谷川東子, 高橋正通, 野口享太郎, 重永英年, 長倉淳子, 酒井寿夫, 石塚和裕, 赤間亮夫. 奥日光の森林衰退地域の樹木生葉と土壌の養分特性 - 他の亜高山地域との比較から -. 環境科学会誌, 22 (6) : 401-414
111. 谷川東子. 森林土壌と酸性環境負荷. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店) : 79-81
112. 谷川東子, 今矢明宏, 稲垣善之, 高橋正通. 森林土壌の金属腐植複合体に含まれるイオウ化合物量. 日本土壌肥科学会講演要旨集, 55 : 28
113. Finer, L. (レナ・フィナー) (フィンランド森林研究所), Ohashi, M. (大橋瑞江) (兵庫県立大学), Noguchi, K. (野口享太郎), and Hirano, Y. (平野恭弘). A global analysis of fine root biomass and biomass production in forest stands. (森林の細根量と差生産量の全球的解析). Short Paper Abstract, The 7th symposium of the international society of root research. Root research and applications, Vienna: University of Natural Resources and Applied Life Sciences : 133

114. Hirano, Y. (平野恭弘), Noguchi, K. (野口享太郎), Ohashi, M. (大橋瑞江) (兵庫県立大学), Hishi, T. (菱拓雄) (九州大学), Makita, N. (牧田直樹) (神戸大学), Fujii, S. (藤井佐織) (京都大学), and Finer, L. (レナ・フィナー) (フィンランド森林研究所). A new method for placing and lifting root meshes for estimating fine root production in forest ecosystems (森林生態系の細根生産量を推定するためのルートメッシュを設置と掘り取りの新しい方法). *Plant Root*, 3 : 26-31
115. Hirano, Y. (平野恭弘), Noguchi, K. (野口享太郎), Ohashi, M. (大橋瑞江) (兵庫県立大学), Hishi, T. (菱拓雄) (九州大学), Makita, N. (牧田直樹) (神戸大学), Fujii, S. (藤井佐織) (京都大学), and Finer, L. (レナ・フィナー) (フィンランド森林研究所). An easier method for placing root meshes for estimating fine root production. Abstract, COSTFP0803 Below carbon ground turnover in European forests, First Workshops
116. 牧田直樹 (神戸大学), 平野恭弘, 檀浦正子 (京都大学), 小南裕志, 溝口岳男, 石井弘明 (神戸大学), 金澤洋一 (神戸大学). Fine root morphological traits determine variation in root respiration of *Quercus serrata* (コナラ細根の形態が呼吸量の変動を決める). *Tree Physiology*, 29 : 579-585
117. Yamamoto, R. (山本梨加) (神戸大学), Hirano, Y. (平野恭弘), Dannoura, M. (檀浦正子) (京都大), Makita, N. (牧田直樹) (神戸大学), Ikeda, T. (池田智恵) (神戸大学), Aono, Y. (青野健治) ((株)環境総合テクノス), Igarashi, T. (五十嵐鉄朗) ((株)環境総合テクノス), Ishii, M. (石井政博) ((株)環境総合テクノス), Yamase, K. (山瀬敬太郎) (兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター), and Kanazawa, Y. (金澤洋一) (神戸大学). Ground penetrating radar can detect roots of *Pinus thunbergii* in a coastal forest. (海岸クロマツ林におけるレーダによる根の検出). Short Paper Abstract, The 7th symposium of the international society of root research. Root research and applications, Vienna: University of Natural Resources and Applied Life Sciences : 253
118. Hirano, Y. (平野恭弘), Dannoura, M. (檀浦正子) (京都大学), Igarashi, T. (五十嵐鉄朗) ((株)環境総合テクノス), Ishii, M. (石井政博) ((株)環境総合テクノス), Aono, K. (青野健治) ((株)環境総合テクノス), Yamase, K. (山瀬敬太郎) (兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター), Makita, N. (牧田直樹) (神戸大学), and Kanazawa, Y. (金澤洋一) (神戸大学). Limiting factors in the detection of tree roots using ground-penetrating radar (地中レーダを用いた樹木根検出の制限要因). *Plant and Soil*, 319 : 15-24
119. Hirano, Y. (平野恭弘), Beat F. (スイス森林研究所), and Brunner, I. (スイス森林研究所). Pattern of aluminum-induced efflux of organic acid anions in root tips differs between *Cryptomeria japonica* and *Pinus thunbergii* seedlings (スギとクロマツ間ではアルミニウムにより根から滲出する有機酸組成が異なる). Short Paper Abstract, The 7th symposium of the international society of root research. Root research and applications, Vienna: University of Natural Resources and Applied Life Sciences, 148
120. Makita, N. (牧田直樹) (神戸大学), Hirano, Y. (平野恭弘), Kominami, Y. (小南裕志), Dannoura, M. (檀浦正子) (京都大学), and Kanazawa, Y. (金澤洋一) (神戸大学). Seasonal changes in fine root respiration and morphological traits in a broad-leaved forest in Japan. (広葉樹林における細根形態と呼吸量の季節変化). Short Paper Abstract, The 7th symposium of the international society of root research. Root research and applications, Vienna: University of Natural Resources and Applied Life Sciences, 149
121. Hirano, Y. (平野恭弘), Ikeda, T. (池田智恵) (神戸大学), Makita, N. (牧田直樹) (神戸大学), Mizoguchi, T. (溝口岳男), and Kanazawa, Y. (金澤洋一) (神戸大学). Variation in fine root traits by branch order within a *Chamaecyparis obtusa* stand. (ヒノキ林分内における細根回数における特性の違い). Short Paper Abstract, The 7th symposium of the international society of root research. Root research and applications, Vienna: University of Natural Resources and Applied Life Sciences, 29
122. 平野恭弘, 野口享太郎, 大橋瑞江 (兵庫県立大学), 菱拓雄 (九州大学), 牧田直樹 (神戸大学), and Finer, L. (レナ・フィナー) (フィンランド森林研究所). 新たな細根生産量評価方法としてのルートメッシュ法. 根の研究, 18 : 68
123. 平野恭弘. 樹木根の成長と発達. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店) :
124. 牧田直樹 (神戸大学), 平野恭弘, 溝口岳男, 小南裕志, 石井弘明 (神戸大学). 樹木細根呼吸量を規定しているものは何なのか? -ヒノキ林における細根形態特性および土壌栄養条件から考える-. 根の研究 18, 76
125. 平野恭弘. 樹木の細い根を調べる (2) 根を採って調べる -土壌コアサンプリング法-. 森林総合研究所関西支所研究情報, 93 : 4
126. 平野恭弘. 樹木の細い根を調べる (3) 根を成長させて調べる -ルートメッシュ法-. 森林総合研究所関西支所研究情報, 94 : 4

127. 平野恭弘. 土を掘らずに地表面からレーダ探査で樹木の根を検出する. 季刊森林総研, 8: 10-11
128. 牧田直樹 (神戸大学), 平野恭弘, 檀浦正子 (京都大学), 山瀬敬太郎 (兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター), 青野健治 ((株) 環境総合テクノス), 五十嵐鉄朗 ((株) 環境総合テクノス), 石井政博 ((株) 環境総合テクノス), 金澤洋一 (神戸大学). ブロックサンプリング法, トレンチ法, 地中レーダ法によるアカマツ林の根現存量および根系分布の推定. 根の研究 18, 39-47
129. 平野恭弘. 森を支える根っこたち. 森林総合研究所関西支所年報, 50: 69
130. 牧田直樹 (神戸大学), 平野恭弘, 溝口岳男, 小南裕志, 深山貴文, 石井弘明 (神戸大学), 金澤洋一 (神戸大学). 樹木細根における現存量・形態特性・窒素含有量の垂直分布～根直径 2mm 以下の詳細な分類から見えてきたもの～. 日本生態学会大会講演要旨集, 57: P3-299
131. Takafumi Miyama (深山貴文), Kenichi Yoshimura (吉村謙一) (神戸大学), Yuji Kominami (小南裕志), and Motonori Okumura (奥村智憲) (京都大学). Characteristics of CH₄ emission from mountain stream in broad leaved deciduous forest. International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM2010) Proceedings, 134
132. 深山貴文. CO₂ は出たり入ったり－いろいろな生物による CO₂ 交換－. 平成 21 年度森林総合研究所関西支所公開講演会要旨: 3
133. MIYAMA Takafumi (深山貴文), KOMINAMI Yuji (小南裕志), YOSHIMURA Kenichi (吉村謙一) (神戸大学), OKUMURA Motonori (奥村智憲) (京都大学), DANNOURA Masako (檀浦正子) (京都大学), JOMURA Mayuko (上村真由子) (日本大学), TAMAI Koji (玉井幸治). Environmental control factors of CO₂ and CH₄ flux on riparian zone of warm-temperate broad-leaved forest in Japan. International Carbon Dioxide Conference Abstracts, 8th (ICDC8), T2-047
134. MIYAMA Takafumi (深山貴文), KOMINAMI Yuji (小南裕志), YOSHIMURA K. (吉村謙一) (神戸大学), OKUMURA Motonori (奥村智憲) (京都大学), ATAKA Mioko (安宅未央子) (京都大学), MAKITA Naoki (牧田直樹) (神戸大学), TOHNO Susumu (東野達) (京都大学). Spatial variation of CO₂ and CH₄ flux in riparian zone of warm-temperate broadleaf forest in Japan. Proceedings of AsiaFlux Workshop 2009, 114
135. 深山貴文, 橋本太郎 (神戸大学), 小南裕志, 中川健太 (京都大学), 奥村智憲 (京都大学), 東野達 (京都大学). Temporal and spatial variations in CH₄ concentrations in a Japanese warm-temperate mixed forest (日本の暖帯混交林におけるメタン濃度の時系列及び空間変動特性). Journal of Agricultural Meteorology 農業気象 66(1), 1-9
136. 深山貴文, 小南裕志. メタン濃度プロファイルの尾根および谷タワー間比較. 森林総合研究所関西支所年報, 50: 51
137. 吉村謙一 (神戸大学), 深山貴文, 小南裕志, 奥村智憲 (京都大学), 安宅未央子 (京都大学). 溪流内のメタン及び二酸化炭素の発生源についての検討. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合同大会研究発表要旨集, 60: 38
138. 深山貴文, 小南裕志, 奥村智憲 (京都大学), 吉村謙一 (神戸大学), 安宅未央子 (京都大学), 牧田直樹 (神戸大学), 檀浦正子 (京都大学). 山城試験地における CO₂ および微量ガスフラックス観測と今後の取り組み. 日本農業気象学会 2010 年度全国大会講演要旨集, 165
139. 深山貴文, 小南裕志, 吉村謙一 (神戸大学), 奥村智憲 (京都大学), 安宅未央子 (京都大学). 湿潤域における CO₂ および CH₄ フラックスの変動特性について. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合同大会研究発表要旨集, 60: 37
140. 深山貴文, 小南裕志. 森林における二酸化炭素、メタンおよび非メタン炭化水素の測定手法. 森林総合研究所関西支所研究情報, 93: 2
141. 安宅未央子 (京都大学), 深山貴文, 小南裕志. 土壌呼吸におけるホットスポット～きのこフラックス～. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合同大会研究発表要旨集, 60: 39
142. Choeyklin R (BIOTEC), Hattori Tsutomu (服部力), Jaritkhuan, S (プラーファ大学), Jones EBG (BIOTEC). Bambusicolous poly pores collected in Central Thailand. (中部タイ産タケ生多孔菌類). Fungal Diversity, 36: 121-128
143. Hattori Tsutomu (服部力). Fungal inventory: amateur activities in Japan and their utilization. (菌類インベントリー: 日本におけるアマチュア活動とその利用). Asian Mycological Congress 2009 Abstract book 0-117

144. Yamashita Satoshi (山下聡) (京都大学), Hattori Tsutomu (服部力), Abe Hisashi (安部久). Host preference and species diversity of wood-inhabiting aphyllporaceous fungi in a cool temperate area of Japan. (国内冷温帯における材上生ヒダナシタケ類の宿主嗜好性と種多様性). *Mycologia*, 102 : 11-19
145. Yamashita Satoshi (山下聡) (京都大学), Hang SM, Hattori Tsutomu (服部力). List of polypores and other Aphyllporaceous fungi collected in the Lambir Hills National Park, Sarawak, Malaysia. (マレーシアランビル国立公園産硬質菌類採集目録). *Biological Laboratory Kyoto University*, 30 : 1-24
146. Sotome Kozue (早乙女梢) (筑波大学), Hattori Tsutomu (服部力), Ota yuko (太田祐子), Kakishima Makoto (柿蔭眞) (筑波大学). Polyporus grammacephalus complex in Japan. (日本国内におけるスジウチワタケ複合種). *Asian Mycological Congress 2009 Abstract book O-50*
147. Sotome Kozue (早乙女梢) (筑波大学), Hattori Tsutomu (服部力), Ota yuko (太田祐子), Kakishima Makoto (柿蔭眞) (筑波大学). Second report of Polyporus longiporus and its phylogenetic position. (Polyporus longiporus の二度目の報告とその系統的位置). *Mycoscience*, 50 : 415-420
148. Yamashita Satoshi (山下聡) (京都大学), Hattori Tsutomu (服部力), Ohkubo Tatsuhiko (大久保達弘) (宇都宮大学), Nakashizuka Toru (中静透) (東北大学). Spatial distribution of fruiting bodies of aphyllporaceous fungi in a tropical rainforest of the Borneo Island, Malaysia. (マレーシアボルネオ熱帯雨林における硬質菌類の空間分布). *Mycological Research*, 113 : 1200-1207
149. Yamashita Satoshi (山下聡) (京都大学), Hattori Tsutomu (服部力), Ohkubo Tatsuhiko (宇都宮大学), Nakashizuka Toru (中静透) (東北大学). Spatial distribution of the basidiocarps of 8 dominant Aphyllporaceous fungi in a Bornean rainforest. (ボルネオ熱帯林における8種の優先的硬質菌子実体の空間分布). *Asian Mycological Congress 2009 Abstract book O-50*
150. Sotome Kozue (早乙女梢) (筑波大学), Hattori Tsutomu (服部力), Ota yuko (太田祐子), Lee SS (マレーシア森林研究所), Vikineswary S (マラヤ大学), Abdullah N (マラヤ大学), Kakishima Makoto (柿蔭眞) (筑波大学). Taxonomic study of Asian species of Echinochaete (Polyporaceae, Basidiomycota) and description of *E. maximipora* sp. nov. (アジア産サビハチノスタケ属の分類と新種 *E. maximipora* の記載). *Mycological Progress*, 8 : 123-132
151. Ota Yuko (太田祐子), Hattori Tsutomu (服部力), Banik MT (USDA), Hagedorn G, Sotome Kozue (早乙女梢) (筑波大学), Tokuda Sawako (徳田佐和子) (北海道立林業試験場), Abe Yasuhisa (阿部恭久) (日本大学). The genus *Laetiporus* (Basidiomycota, Polyporales) in East Asia. (東アジア産マスタケ属). *Mycological Research*, 113 : 1283-1300
152. Tokuda Sawako (徳田佐和子) (北海道立林業試験場), Hattori Tsutomu (服部力), Dai YC (中国林業科学院), Ota Yuko (太田祐子), Buchanan PK (ランドケアリサーチ). Three *Heterobasidium* (Basidiomycota, Hericiales) species from East Asia (東アジア産マツノネクチタケ属3種). *Mycoscience*, 50 : 190-202
153. 服部力, 長谷川元洋. 森林伐採法が木材腐朽菌多様性に及ぼす影響. *森林総合研究所関西支所年報*, 50 : 52
154. 服部力, 山下聡 (京都大学), 長谷川元洋, Chung AYC (マレーシアサバ森林局), 北山兼弘 (京都大学). マレーシアデラマコットにおける森林施業が小径 CWD 上硬質菌群集に及ぼす影響. *日本菌学会講演要旨集*, 53 : 70
155. 山下聡 (京都大学), 服部力, 吉村剛 (京都大学). 東南アジア熱帯における林業活動が多孔菌類の多様性に及ぼす影響. *日本生態学会大会講演要旨集*, 57 :
156. 早乙女梢 (筑波大学), 服部力, 太田祐子, 柿蔭眞 (筑波大学). 日本産 *Polyporus pseudobetulinus* 複合種の分類学的検討. *日本菌学会講演要旨集*, 53 : 46
157. 宮下俊一郎. ケケンボナシてんぐ巣病ファイトプラズマの分子系統解析. *森林総合研究所関西支所年報*, 50 : 53
158. 宮下俊一郎. ケケンボナシてんぐ巣病病原ファイトプラズマの分子系統解析. *日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合同大会研究発表要旨集*, 60 : 82
159. 竹田千尋 (東京農工大学), 梶光一 (東京農工大学), 田村哲生 (東京都農林総合研究センター), 伊吾田宏正 (酪農学園大学), 吉田剛史 (酪農学園大学), 高橋裕史, 土屋誠一郎 (酪農学園大学). GPS 首輪を用いたニホンジカの行動解析. *日本生態学会大会講演要旨集*, 57 :

160. 高橋裕史. どこまで資源? ニホンジカによる餌転換とヒトによる価値転換. 林業と薬剤, 190 : 1-4
161. 高橋裕史. ニホンジカによる攪乱跡地利用とその早期検出. 森林総合研究所関西支所年報, 50 : 54
162. 高橋裕史. 街にも迫るニホンジカ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 94 : 3
163. 梶光一 (東京農工大学), 山本悠子 (東京農工大学), 高橋裕史, 宮木雅美 (酪農学園大学). 対照的な二つのエゾシカ個体群の崩壊後の挙動: 個体数の制限と調節. 日本哺乳類学会 2009 年度大会講演要旨集:
164. 高橋裕史, 日野輝明. 大台ヶ原ドライブウェイ沿道のニホンジカ. 日本生態学会大会講演要旨集, 57 :
165. 土屋誠一郎 (酪農学園大学), 吉田剛司 (酪農学園大学), 伊吾田宏正 (酪農学園大学), 松浦友紀子 (北海道大学), 高橋裕史, 梶光一 (東京農工大学). 洞爺湖中島における人慣れエゾシカ (*Cervus nippon yesoensis*) 個体の日周行動の観察. 日本哺乳類学会 2009 年度大会講演要旨集:
166. 吉村真由美. 7.2 昆虫と生態系 a 底生動物 (溪流). 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店): 208-209
167. Mayumi Yoshimura (吉村真由美), Isamu Okochi (大河内勇). A decrease in endemic odonates in the Ogasawara Islands, Japan., High population densities of an exotic lizard, *Anolis carolinensis* and its possible role as a pollinator in the Ogasawara Islands.. Restoring the oceanic island ecosystem, K. Kawakami and I Okochi (eds) Springer, Tokyo : 139-144, 71-74
168. Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Comparison of EPT (Ephemeroptera, Plecoptera, Trichoptera) adult assemblage between old-growth natural forest and planted coniferous forest in Japanese temperate region. . Program and Abstracts of the 14th international symposium on river and lake environment, 98 :
169. Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Comparison of stream benthic invertebrate particularly stonefly assemblages in the temperate forest in Japan in relation to forest types. Aquatic Insects, 31 : 369-376
170. Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Impact of secondary forest management on ant species composition in the temperate region in Japan. . Journal of Insect Conservation, 13-5 : 563-568
171. 吉村真由美. 溪畔林と溪流の昆虫とのつながり. 季刊森林総研, 8 : 4-5
172. 吉村真由美. 森林タイプと溪流性底生動物との関係. 森林総合研究所関西支所年報, 50 : 55
173. 藤原淳一 (神戸大学), 吉村真由美, 前藤薫 (神戸大学). ヒメドロムシ科甲虫種の微生物環境の選好性. 日本昆虫学会近畿支部 2009 年度大会・日本鱗翅学会近畿支部第 139 回例会合同大会 (昆虫学公開研究発表会):
174. 吉村真由美. 溪流魚と森林のかかわり. 「国際生物多様性年」記念シンポジウム只見の生き物たちがもたらす森の恵み要旨集: 7
175. 吉村真由美. 溪流性水生生物群集と森林・人・流域. 日本陸水学会大会講演要旨集, 74 : 80
176. 吉村真由美. 森林と溪流にすむ生物たちの世界. 山林, 1499 : 50-53
177. 吉村真由美. 底生動物群集の流程及びその支流における分布. 日本昆虫学会大会講演要旨集, 69 : 66
178. 衣浦晴生. 7.1.2 材食性昆虫 b. キクイムシ類. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店): 190-191
179. Shoich Saitoh (斉藤正一) (山形県森林研究研修センター), Mishuhiro Okada (岡田充弘) (長野県林業総合センター), Haruo Kinuura (衣浦晴生), Masahiko Tokoro (所雅彦), Masahide Kobayashi (小林正秀) (京都府立大学), Masaaki Ino (猪野正明) (サンケイ化学 (株)). Trial to control of Japanese oak wilt using decoy tree and aggregation pheromone of *Platypus quercivorus* (Coleoptera: Platypodidae). The Annual Meeting of the Entomological Society of America
180. 衣浦晴生, 所雅彦, 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター), 岡田充弘 (長野県林業総合センター). おとり木トラップ法によるカシノナガキクイムシの誘引. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合同大会研究発表要旨集, 60 : 91

181. 所雅彦, 市原優, 衣浦晴生, 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター), 岡田充弘 (長野県林業総合センター). カシノナガキクイムシ集合フェロモンの誘引効果を高めるナラ類揮発性成分の探索 - GC-MS 分析の結果 -. 関東森林研究, 61 :
182. 所雅彦, 衣浦晴生, 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター), 岡田充弘 (長野県林業総合センター). カシノナガキクイムシの誘引効果を高めるカイロモン成分の探索. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合同大会研究発表要旨集, 60 : 37
183. 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター), 衣浦晴生, 加藤徹 (静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター), 岡田充弘 (長野県林業総合センター), 大橋章博 (岐阜県森林研究所), 福井修二 (鳥根県中山間地域研究センター), 蛭田利秀 (福島県林業研究センター), 山中武彦 ((独) 農業環境技術研究所), 加賀谷悦子, 牧野俊一. ナラ類集団枯損対策のための森林資源分布図の作成. 森林資源管理と数理モデル十周年記念国際シンポジウム, 森林資源管理と数理モデル研究会 :
184. 衣浦晴生. 環境の変化と「ナラ枯れ」. 森林総合研究所関西支所研究情報, 94 : 1
185. 川島大次 (岩間造園), 衣浦晴生, 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター). 殺菌剤の樹幹注入によるナラ枯れ防除の実施例. 樹木医学会誌, 13 (3) : 162-163
186. Yuko Ota (太田祐子), Kozue Sotome (早乙女梢) (筑波大学), Eri Hasegawa (長谷川絵里). Seven *Armillaria* species identified from Hokkaido Island, northern Japan. (北海道で識別されたナラタケ属7種について). *Mycoscience*, 50 : 442-447
187. 長谷川絵里. サクラの系統と病害. 森林総合研究所関西支所研究情報, 95 : 3
188. 長谷川絵里, 秋庭満輝, 岩本宏二郎, 勝木俊雄, 太田祐子, 高畑義啓, 石原誠, 佐橋憲生, 窪野高德. サクラ系統の病害調査 (中間報告). 樹木医学会大会講演要旨集, 14 : 15-16
189. Motohiro Hasegawa (長谷川元洋), Shinji Sugiura (杉浦真治), Masamichi T. Ito (伊藤雅道) (駿河台大学), Aska Yamaki (八巻明香) (横浜国立大学), Keiko Hamaguchi (濱口京子), Toshio Kishimoto (岸本年郎) ((財) 自然環境研究センター), and Isamu Okochi (大河内勇). Community structures of soil animals and survival of land snails on an island of the Ogasawara Archipelago. . *Pesquisa Agropecuária Brasileira* (2009), 44 : 896-903
190. 濱口京子. DNA でオオスズメバチの巣の数をかぞえる. 森林総合研究所関西支所研究情報, 93 : 3
191. Junco Nagata (永田純子), Youichi Sonoda (園田陽一) (国土交通省国土技術政策総合研究所), Keiko Hamaguchi (濱口京子), Naoki Ohnishi (大西尚樹), Soh Kobayashi (小林そう) ((財) 電力中央研究所), Ken Sugimura (杉村乾), Fumio Yamada (山田文雄). Isolation and characterization of microsatellite loci in the Amami rabbit (*Pentalagus furnessi*). *Conservation Genetics*, 10 : 1121-1123
192. 濱口京子, 佐藤隆士 (兵庫県三田市), 大井徹. ツキノワグマの胃内容物に含まれていたアリ・ハチ類, およびその他の昆虫について. 蟻, 32 : 36-40
193. 濱口京子. ハリナガムネボソアリの女王の体サイズ二型にコロニー内ワーカー数が及ぼす影響. 日本蟻類研究会プログラム, 52 : 7
194. 後藤秀章, 濱口京子, 所雅彦, 新原修一 (鹿児島県森林技術総合センター), 升屋勇人. 屋久島におけるカシノナガキクイムシによるマテバシイ集団枯損の記録. 日本森林学会九州支部大会研究発表会, 65 :
195. 濱口京子. 種子散布. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店) : 204-205
196. 佐藤隆士 (兵庫県三田市), 鶴崎展巨 (鳥取大学), 濱口京子, 木野村恭一 (大垣北高校). 鳥取県のアリ類. 鳥取県立博物館研究報告, 47 : 27-44
197. 齋藤和彦. 森林ボランティア、市民参加. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店) : 565-567
198. 高嶋敦史 (琉球大学), 高橋玄 (琉球大学), 大島順子 (琉球大学), 齋藤和彦. 沖縄島ヤンバル地域におけるイスノキの成長特性. 日本森林学会九州支部大会研究発表会, 65 :
199. 齋藤和彦. 森林総研「山原プロ」における森林情報整備の到達点と課題. 亜熱帯森林・林業研究会発表論文集, 2009 : 7-11

200. 齋藤和彦. 森林総研「山原プロ」における森林情報整備の到達点と課題. 平成 21 年度亜熱帯森林・林業研究会定期総会・研究発表会 : 15
201. 奥敬一. 「木のない山」の恵み. 全国植樹祭 60 周年記念写真集 : 48
202. 深町加津枝 (京都大学), 藤井咲紀 (京都府立大学), 奥敬一, 三好岩生 (京都府立大学). Isolated Japanese persimmon trees and the role of these trees in the local culture in a traditional satoyama landscape in Kyoto Prefecture, Japan. The 10th International Congress of Ecology Abstract :
203. 奥敬一, 村上由美子 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所), 佐久間大輔 (大阪市立自然史博物館), 堀内美緒 (国連大学高等研究所), 井之本泰 (NPO 法人里山ネットワーク世屋), 深町加津枝 (京都大学), 杉山淳司 (京都大学生存圏研究所), 大住克博, 湯本貴和 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所). Traditional Satoyama resource utilization from an aspect of materials of a farmhouse in Tango Peninsula, Kyoto, Japan. The 10th International Congress of Ecology Abstract :
204. 奥敬一. 景観・ランドスケープ保全. 森林総合研究所編「森林大百科事典」(朝倉書店) : 559-560
205. 奥敬一. 山あいの民家は里山の「雑木林」そのものだった. 森林総合研究所関西支所研究情報, 92 : 2
206. 藤井基弘 (京都大学), 奥敬一, 深町加津枝 (京都大学), 夏原由博 (京都大学), 三好岩生 (京都府立大学). 丹後半島におけるチマキザサの新たな利用とその意義. 日本景観生態学会大会講演要旨集, 19 : 20
207. 奥敬一, 村上由美子 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所), 佐久間大輔 (大阪市立自然史博物館), 堀内美緒 (国連大学高等研究所), 井之本泰 (NPO 法人里山ネットワーク世屋), 深町加津枝 (京都大学), 杉山淳司 (京都大学生存圏研究所), 大住克博, 湯本貴和 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所). 丹後半島山間部の民家建築部材に見る里山資源利用. 日本景観生態学会大会講演要旨集, 19 : 21
208. 奥敬一. 文化的景観としての茶園－川根地域を題材として－. 茶, 727 : 12-15
209. 深町加津枝 (京都大学), 奥敬一, 三好岩生 (京都府立大学). Landscape structure and conservation policy in Kyoto City, Japan. Abstracts of the 15th international symposium on problems of landscape ecological research : 16-17
210. 奥敬一, 深町加津枝 (京都大学). Traditional use of bamboo grass and its effect on forest floor plant diversity. Abstracts of the 15th international symposium on problems of landscape ecological research : 63
211. 村上由美子 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所), 奥敬一, 佐久間大輔 (大阪市立自然史博物館), 堀内美緒 (国連大学高等研究所), 井之本泰 (NPO 法人里山ネットワーク世屋), 深町加津枝 (京都大学), 杉山淳司 (京都大学生存圏研究所), 大住克博, 湯本貴和 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所). 丹後半島の民家建築部材にみる木材利用. 日本植生史学会大会要旨集, 24 : P-26
212. 奥敬一, 小川菜穂子 ((株) スペースビジョン研究所), 堀内美緒 (金沢大学地域連携推進センター), 深町加津枝 (京都大学). Traditional Farmhouses as Sources for Land Use History – a Case Study from the Satoyama Landscape in Japan. Woodland Cultures in Time and Space : tales from the past, messages for the future (Saratsi, E, Burgi, M, Johann, E., Kirby, K, Moreno, D. & Watkins, C. (Eds)) : 284-290
213. 深町加津枝 (京都大学), 奥敬一, 三好岩生 (京都府立大学). Changes of Land Use and Vegetation in Satoyama Landscape of Tango Peninsula, Kyoto, Japan: Where are they Bound for ? . Woodland Cultures in Time and Space: tales from the past, messages for the future (Saratsi, E, Burgi, M., Johann, E, Kirby, K, Moreno, D. & Watkins, C. (Eds)) : 276-283
214. 岩佐匡展 (京都府立大学), 深町加津枝 (京都大学), 奥敬一, 福井亘 (京都府立大学), 堀内美緒 (金沢大学地域連携推進センター), 三好岩生 (京都府立大学). 大都市近郊に位置する京都府木津川市鹿背山地区における 1880 年代以降の里山景観の変遷. 農村計画学会誌, 28 論文特集号 : 321-326
215. 深町加津枝 (京都大学), 大岸万里子 (元京都大学), 奥敬一, 三好岩生 (京都府立大学), 堀内美緒 (金沢大学地域連携推進センター), 柴田昌三 (京都大学大学院フィールド科学教育研究センター). 丹後半島山間部の棚田景観の変遷と棚田の残存要因に関する研究. 農村計画学会誌, 28 論文特集号 : 315-320

216. 奥敬一（代表編集），大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所「日本列島における人間 - 自然相互関係の歴史的・文化的検討」。民家が語る里山の価値丹後半島民家シンポジウム講演記録集（プロジェクト近畿班編集）：78pp
217. 奥敬一。多様な関わりが生み出す森林の生物多様性。平成 21 年度森林・林業交流研究発表集録：103-104
218. 奥敬一（共著）。第 4 章 里山の保全・管理を支援するための社会的技法。森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集, 27「人と自然のふれあい機能向上を目的とした里山の保全・利活用技術の開発」：109-131
219. Kunihiro Tanaka（田中邦宏），Mariko Inoue（井上真理子）。Development of a Practice Work Program for Non-Vocational High Schools: Using Anaglyph to Interpret Aerial Image. The University of Tokyo International Symposium International Conference on Multipurpose Forest Management Strategies for Sustainability in a Climate Change Era：75
220. 田中邦宏，野田巖（（独）国際農林水産業研究センター）。アカマツ天然林伐採後に植栽されたヒノキ人工林の成長－奥鳥山収穫試験地（滋賀県近江八幡市）定期調査報告－。森林総合研究所関西支所年報，50：59-61
221. 千葉幸広，韓慶民，川崎達郎，家原敏郎，細田和男，西園朋広，田中邦宏。森林炭素固定量の変動予測に向けたシミュレーションモデルの開発。森林総合研究所平成 21 年版研究成果選集：6-7
222. 田中邦宏，田中亘。新重山ヒノキ収穫試験地（広島県神石郡）の林分構造と成長。森林総合研究所関西支所年報，50：62-64
223. 田中亘。ガーナにおける違法伐採に対する取り組み。平成 21 年度違法伐採対策等のための持続可能な森林経営推進計量モデル開発事業報告書：6-10
224. 田中亘。ガーナ国における林業・木材産業の動向と違法伐採対策。森林総合研究所関西支所年報，50：56
225. 田中亘。ガーナ国における林業・木材産業の動向と違法伐採対策。木材情報，219：1-4
226. 田中亘。森林所有権移動の地域的な動向 近畿・中国地方。森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集，29：43-46
227. 田中亘。三重県における取り組みと今後の課題。平成 20 年度「緑の雇用担い手対策事業」の評価に関する調査（第 2 期緑の雇用評価調査）報告書：93-109
228. 田中亘。林業労働力。森林総合研究所編「森林大百科事典」（朝倉書店）：392-393
229. 田中亘。雇われる側としての定住外国人の現状と課題。雇用力・生産力・地域力・教育力の一体的連携強化による山村活性化に関する調査報告書，浜松市調査編：22-33
230. 田中亘，林雅秀，岡裕泰，久保山裕史。森林所有者の伐採と更新に関する将来意向－和歌山県におけるアンケート調査から－。日本森林学会関西支部，日本森林技術協会関西・四国支部連合同大会研究発表要旨集，60：30
231. 田中亘。里山林利用・保全施策に対する自治体合併の影響。森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集，27：120-121
232. 田中亘。林業労働者数の推移と将来推計。雇用力・生産力・地域力・教育力の一体的連携強化による山村活性化に関する調査報告書，全国調査編：38-46